

OCEANS

Open Collaboration Laboratory for
Enabling Advanced Marine Systems

阪大OCEANS

第二回シンポジウム

海事産業と拓く"地に足のついたAI開発"
— 初年度の成果と、BRIDGEで広がる次の歩み

主催：大阪大学工学研究科

共催：今治造船株式会社、ジャパン マリンユナイテッド株式会社、
一般財団法人日本海事協会、株式会社 MTI

協賛：海事プレス社、日本海事新聞社

参加費
無料

* 事前の参加登録
が必要です

日時

2026年 6月 24日 水

13:00-17:30 (12:30開場)

場所

大阪大学 吹田キャンパス
コンベンションセンター MOホール

阪大OCEANSは2025年4月の開設以来、造船・海運・船級が結集する海事産業の現場と並走し、まずは設計の自動化を中核に、生成AIを実務の現場で活かすためのフレームワーク作りに取り組んできました。仕様詳細の自動生成、CAD設計支援、流体シミュレーションの高速化、船型生成によるパラメトリックロール感度評価——いずれも現場のデータと知見に根を下ろした"地に足のついたAI開発"です。並行して、大規模言語モデルによる複数ロボット協調や溶接タスクの最適化など建造現場へのAI実装にも踏み出し、その先にあるフィジカルAIへの道筋を見据えています。こうした歩みが評価され、本年度より「研究開発とSociety5.0との橋渡しプログラム (BRIDGE)『AIの活用による次世代造船所の実現に資する技術開発』に関する研究支援業務」(実施機関:国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所)に本テーマが採択され、活動の射程はさらに広がる新たな段階に入りました。

開設2年目を迎えるこのたび、これまでの研究成果と今後の展望を共有する場として「阪大OCEANS第二回シンポジウム2026」を開催いたします。基調講演には、わが国海事政策の中核を担われる国土交通省 大臣官房技術審議官 今井 新 氏、そして欧州の造船DXプロジェクト「SEUS」を率い、ノルウェー海事産業のAI研究を牽引するNTNU (ノルウェー科技大) Henrique M. Gaspar 教授をお迎えします。続くパネルディスカッションでは、OCEANSとBRIDGEを起点に日本の船舶設計・建造・運航をいかに革新していくかを、産業界の第一線でご活躍の皆さまと議論いたします。海事産業の現場から立ち上がるAI研究の到達点と、その先にある飛躍を共に体感いただける一日となれば幸甚です。ご多用のところ誠に恐縮ですが、ぜひご臨席賜りますようお願い申し上げます。

参加登録フォーム

ご参加を希望される方は、右記のURL もしくは QR コードより
事前にご登録いただきますよう、お願いを申し上げます

<https://forms.gle/K7UNY1nJ3BdB4pJH7>

* 定員 150 名

オンラインからは人数制限なく、ご参加いただけます。



お問い合わせ

本件に関するお問い合わせは、以下までお願いいたします。

大阪大学 大学院 工学研究科 先進海事システムデザイン共同研究講座

E-mail: oceans.events@naoe.eng.osaka-u.ac.jp

TEL: 06-6879-7419



PROGRAM

| | | | | |
|-------|--|-------|--|---|
| 13:00 | 開会挨拶 | | 大政 健史 曾我 貴也 庄司 るり | 大阪大学 大学院 工学研究科 研究科長 日本郵船 代表取締役社長 海上・港湾・航空技術研究所 理事長 |
| 13:20 | 基調講演 | | 今井 新 Henrique H. Gasper | 国土交通省 大臣官房技術審議官 NTNU, Department of Ocean Operations and Civil Engineering, Professor |
| 14:00 | OCEANS成果報告 「初年度の成果」 | | 一ノ瀬 康雄 | 大阪大学 大学院 工学研究科 先進海事システムデザイン 共同研究講座 特任准教授 |
| 14:20 | ~~~~ 休憩 ~~~~ | | | |
| 14:35 | OCEANS成果報告 | | | |
| | 「生成AIによるシリーズ船 仕様詳細の自動生成」 | | 脇田 康希 | 大阪大学 大学院 工学研究科 先進海事システムデザイン 共同研究講座 特任助教 |
| | 「生成AIを活用した船舶CAD 設計支援システムの開発」 | | 畑山 浩介 | 大阪大学 大学院 工学研究科 先進海事システムデザイン 共同研究講座 修士課程 |
| | 「生成AIによる流体シミュレーションの 高速化 -波浪中CFD代理モデル開発-」 | | 中植 大地 | 大阪大学 大学院 工学研究科 先進海事システムデザイン 共同研究講座 修士課程 |
| | 「船型自動生成による パラメトリックロール感度影響調査」 | | 酒井 政宏 | 大阪大学 大学院 工学研究科 地球総合工学専攻 准教授 |
| | 「大規模言語モデルを用いた 複数ロボット協調」 | | 堀井 隆斗 | 大阪大学 大学院 基礎工学研究科 システム創成専攻 准教授 |
| 15:50 | ~~~~ 休憩・ポスターセッション ~~~~ | | | |
| | 「生成AIを活用した PFD自動生成技術の開発」 | | 大宅 暁 | 株式会社MTI 船舶物流技術グループ 船舶システムチーム |
| | 「生成AIを活用した 船舶CAD設計支援システムの開発」 | | 畑山 浩介 島川 義明 | 大阪大学 大学院 工学研究科 先進海事システムデザイン 共同研究講座 博士前期課程 ジャパン マリンユナイテッド株式会社 設計本部 設計統括部 設計システムグループ 主査 |
| | 「生成AIを用いた 代替燃料供給システムのリスク分析」 | | 柳本 史教 | 日本海事協会 開発本部技術研究所 機関・海洋環境部門脱炭素ユニット |
| | 「生成AIによる流体シミュレーションの 高速化 -波浪中CFD代理モデル開発-」 | | 中植 大地 | 大阪大学 大学院 工学研究科 先進海事システムデザイン 共同研究講座 博士前期課程 |
| | 「固有ひずみFEMによるブロック組立解析の 効率化および強度評価との連携に関する研究」 | | 辰巳 晃 | 大阪大学 大学院 工学研究科 地球総合工学専攻 准教授 |
| | 「船型自動生成による パラメトリックロール感度影響調査」 | | Sreenath Subramaniam | 株式会社MTI システム設計開発チーム システムインテグレーション&コンサルティンググループ |
| | 「複数ロボットを用いた溶接施工・品質管理 のタスクスケジューリング」 | | 郭 章怡 黒田 雄一郎 | 大阪大学 大学院 工学研究科 先進海事システムデザイン 共同研究講座 博士前期課程 株式会社MTI システム設計開発チーム システムインテグレーション&コンサルティンググループ |
| 16:20 | パネルディスカッション | 司会 | 一ノ瀬 康雄 | 大阪大学 大学院 工学研究科 先進海事システムデザイン 共同研究講座 特任准教授 |
| | | パネリスト | 辰巳 晃 堀井 隆斗 満行 泰河 高橋 賢司 島川 義明 大田黒 哲哉 | 大阪大学 大学院 工学研究科 地球総合工学専攻 准教授 大阪大学 大学院 基礎工学研究科 システム創成専攻 准教授 横浜国立大学 大学院 工学研究院 准教授 今治造船 経営企画本部 DX推進室 室長 ジャパン マリンユナイテッド株式会社 設計本部 設計統括部 設計システムグループ 主査 日本海事協会 デジタル本部 デジタルトランスフォーメーションセンター |
| | 「BRIDGEに期待する 成果と今後の展望」 | | | |
| 17:20 | 閉会挨拶 | | 牧 敦生 | 大阪大学 大学院 工学研究科 地球総合工学専攻 教授 |
| 18:00 | 閉会后、懇親会 | | | |
| 20:00 | 会場：リーガロイヤルホテル（大阪）直営レストラン ミネルバ | | | |